



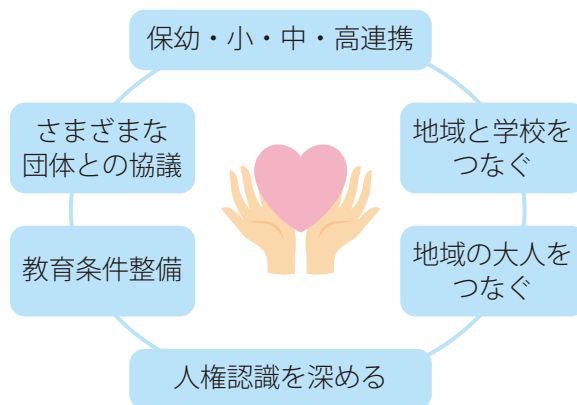
## 人権の視点で人と人をつなぐ 「人権のまちづくり」

●問合せ先 人権・同和教育課 ☎72-2111

### 地域の特性を生かしながら行う 「人権のまちづくり」

平成10年、宝城中校区の「人権のまちづくり」推進連絡会が立ち上がり、その後すべての校区で「人権のまちづくり」が行われるようになりました。

人権のまちづくりでは、“一人ひとりが生き生きと生活できるまち”をめざし、さまざまな人権問題の学習を通してお互いの人権について考えます。一緒に課題解決を図ることや、子どもの育ちと学びを支援する活動、また安心・安全な地域づくりなどを各校区の実態に基づき行っています。



### 2つの校区の取組を紹介します

#### 小郡中学校区

“地域と学校をつなぐ取組”として、中学3年生を対象に「赤ちゃんふれあい体験」を行っています。生徒は、助産師からの事前学習を経て、乳幼児健診に参加し、赤ちゃんやその家族と触れ合う中で、命の大切さや家族の思い、自分自身の成長を感じています。体験した生徒からは、「日々の親の苦労のおかげで自分がいるのだと改めて思った」などの声が寄せられました。

地域や行政の協力があり、子どもたちの学びや育ちの体験が実現されています。



#### 宝城中中学校区

令和元年11月、“地域みんなで人権について学ぶ場”として、宝城中校区の児童・生徒・保護者・地域の人が参加し、人権フェスタを開催しました。フェスタでは、小学生の低学年交流や中学生の職場体験などの報告会が行われました。「性の多様性」をテーマにした人権講演会では、LGBTQの若者をサポートするFRENSの小野アンリさんが「ありのままの自分を受け入れてもらえる、受け入れることができる世の中になってほしい」と訴えました。最後は参加者みんなで「花は咲く」を歌いました。

宝城中校区のみんなが仲良く生活できる地域をめざしてつながる場になっています。



一人ひとりが「できる範囲」で「できそうなこと」から踏み出し、  
一緒に「人権のまちづくり」でつながりませんか。

